

たまりば

2011年度 冬号

Communication
通信 

◆ 発行日 2012年1月 ◆ 発行 特定非営利活動法人フリースペースたまりば
〒213-0022 川崎市高津区千年435-10
TEL 044-833-7562
FAX 044-833-7534

<http://www.tamariba.org>
E-mail : freespace@tamariba.org

今日も行く！「ロス えんクエントロス」

今年は、秋から冬にかけて、たまりばフォルクローレバンド『ロスえんクエントロス』の出演するイベントが多くありました。

まず最初の舞台になったのは、10月23日（日）に行なわれた白梅学園大学文化祭（白梅祭）。わが法人の理事でもある長谷川俊雄さんのゼミ生が中心となって企画したコンサートでした。朝早い遠征だったのですが、子どもたちは元気に演奏を行ない、大成功で終えることができました。演奏後には、加藤彰彦さん（沖縄大学）と汐見稔幸さん（白梅学園大学）の学長対談があり、子どもたちは文化祭を楽しみ、大人たちは対談を聞いて帰るといふ盛り沢山の一日でした。

次の舞台は、12月1日（木）にグリーンホール相模大野で行なわれた第22回かながわ国際人権集会。上野千鶴子さん（東京大学名誉教授）の講演会が第2部にあり、その前の第1部として出演しました。来場者は、なんと1,300人以上。超満員の会場の中、子どもたちはものすごく緊張してはいたはずですが、そんなことを感じさせない『ロスえんクエントロス』らしい、元気で優しいメロディーが会場に響きわたっていました。来場者の中には、いつも『ロスえんクエントロス』



のイベントを観に来てくれているファンの方もいて、「演奏、とても良かったよ。みんなの音がとても心地よ



く重なり合っていて、うまくなったね」と、子どもたちに声をかけてくれました。音楽を通して育てている子ども・若者たちの姿を、ずっと温かく見守ってくれている人がいるということに、とても幸せな気持ちになりました。

最後は、12月4日（日）にエポックなかはらで行なわれた「かわさき子どもの権利の日のつどい」イベント。川崎市では、国連総会において1989年11月20日に『子どもの権利条約』を採択したことから11月20日を「かわさき子どもの権利の日」と定め、毎年その前後に「かわさき子どもの権利の日のつどい」事業として講演会などを実施し、子どもの権利についての広報・啓発を行なっています。今年度は、日野原重明さん（聖路加国際病院理事長、同名誉院長）の講演が行なわれました。会場の収容人数は約900人。子どもたちは多くの来場者の前での演奏でしたが、伸び伸びとやっていました。日野原さんの講演会の最後には、日野原さんの指揮のもと『ロスえんクエントロス』が伴奏を務めて、「ふるさと」を会場の方々と一緒に歌いました。会場中に素晴らしい歌声が響き、心地の良い空気が流れるいい時間でした。（ゆうき）

NPO法人
フリースペース
たまりば
って...?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体（フリースペースえんを含む）の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

今年も現る！「こどもゆめ横丁」

11月6日(日)今年も「こどもゆめ横丁」が盛大に開催されました。店舗づくりはもちろんのこと、パイプ組みから公共施設の建設、解体作業までたくさんのメンバーの腕が光ったイベントでした。

店舗づくりは常連さんも多く、しっかりとした店がまえが、スムーズに建設。デザインにはそれぞれのお店がカラーをだしていました。公共施設の建設は建築会社が設立し、社長も誕生しました。当日は降りそうだった雨もち、1600人の来場者がありました。横丁内にはおなじみ登龍門(飛び入りステージ)もあり、フォルクローレバンドが元気に演奏し、会場を盛り上げました。どのお店もお客の行列が絶えず、にぎやかに時間は過ぎていきました。解体作業ではお兄さん・お姉さんが率先して動き、あっという間に進んでいきました。「次はこんなお店をだしたいな」という声もちらほら聞こえてきます。来年も楽しみですね。(まちこ)



雨の箱根 足湯の極楽

11月11日(金)箱根彫刻の森美術館に行ってきました。「有北さんとアート」の講座からはじまり、毎年秋の紅葉の季節に1度は行っている恒例の企画です。冷たい雨が降っていましたが、電車での遠出は、わくわく。電車の中では、しりとりや、箱根にちなんで「は」のつく言葉集めなどで、盛り上がります。着いたら、温かい食事場所を確保するのも待てずに、ふきっさらしの休憩所でお弁当。そして、凍えた体を溶かすのは、彫刻の森美術館名物の足湯。気温が低いのに、全身がぼかぼかしてくるのが不思議。「ネットの森」というハンモックのようなコーナーでは、やっぱり汗をかくほど遊ぶ子たちも。大量の塩で城や波を表した特別展や、何度も何



度も微妙な修正を加えている過程がわかるピカソの版画なども、みんなの関心を集めていました。芸術と足湯を楽しんだ一日でした。(のぶこ)

野染めと紅葉の秋

青空と紅葉の中、夢パークの広い庭で、幅1mで長さが40mもある真っ白の布が色鮮やかに染まっていく。約50人の人たちの手には、染料の入ったバケツと刷毛。今年も11月17



日(木)に『野染め』をしました。風に揺られながら色が混ざり合い染まっていき、二つとして同じ柄になることのない野染め。「野染めはいいね。固まった体やこころもほどけて、溶け合って、つながっていく。」と言うのは講師の斎藤洋さん。

京都の染色家で「染めのおっちゃん」と親しまれている斎藤さんは、震災後何度も東北を訪れて、野染めやメモリアルキルト作り、針箱を届けるなどの活動を続けているので、午後はスライドを見ながらそのお話を聞きました。それぞれが各地で揺れる野染めの布に思いをはせる、そんな豊かであったかな時間が流れていました。(ダイスケ)

「えん味噌」つくったよ

今年はちょっと早めの12月に“えん味噌”づくりをしました。味噌の原料はこだわりの大豆10kg、麹10kg、塩4kg。これで40kgの味噌ができます。

外のかまどの大なべで大豆を煮ながら、昼食は一昨年につくった“えん味噌”入りの豚汁をいただきました。大豆が親指と小指でつぶせる位柔らかく煮あがったら、今度は、えんの中ですり鉢とすりこぎを使って大豆をつぶします。

今回はカンちゃんの提案でポテトマッシャーを初めて使ったら、スピードアップ。すりこぎとすり鉢を使っている子たちは、「黒船が来たー!」「ペリーだー!」と大騒ぎ。

つぶした大豆は熱いうちに麹と塩を混ぜて味噌だまを作り、カメに空気が入らないように投げ入れます。

半年後には食べられます。おいしい味噌になりますように!(たかこ)



指定管理施設

『やってみよう』がいっぱいある場所です
川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



「えん」で行なわれている講座を紹介します

五郎さんの「演劇講座」 連続講座

「五郎さんの演劇講座」では「自分を表現する」いろいろなやり方を教えてくれます。立ち方・歩き方や、声の出し方、高さや話すスピードで同じセリフでも無限のシーンができること。ひとつのお題で寸劇を作り「想像力をふくらませる」練習など。みんなのさまざまな発想や、いろんな表情が出てくるのがとても面白いです。

そんな講座の一年の締めくくりは、「たまりばフェスティバル」での「五郎劇団」オリジナル演劇。「こんな衣装が着たい」「こんな役がやってみたい」というみんなの声をまとめながら、およそ半年かけて劇を一から作っていきます。たくさんの人を巻き込んだ、歌あり、ダンスあり、笑いあり、アドリブたっぷりの舞台は毎年大好評



で、数々の名優・名場面を生み出してきました。今年のフェスティバルではついに、原作・脚本・演出全てメンバーの手による作品が実現しそうです。ぜひ、見に来てくださいね！（ハイホー）

片岡五郎 <かたおかごろう>

俳優。俳優座養成所15期生。大学時代に青春スターとしてデビュー後、悪役俳優に転向し、「水戸黄門」「西部警察」「火曜サスペンス」「土曜ワイド劇場」等に出演。映画作品では「仁義なき戦い」「シコふんじゃった」「shall we ダンス」他多数。現役で、TV、映画、舞台で活躍中。



HAPPY えん プリデイ

畑のはじっこに突如出現した巨大なトウガン、その数なんと3つ！どうやら堆肥用の生ごみから飛び出した種が、自生して勝手に大きくなったよう、小学生の頭2つ分はありそうな重たいトウガンをとってきて、早速食卓へ、山のように煮物を作り、皮はキンピラに、30人でも1日では食べきれませんでした。（みよし）

えんではひと月ほど前から囲碁が大流行!!!! 朝から入ってくるなり「かん、囲碁やろう!」とみんなやる気満々です。打っているときの眼つきは真剣そのもの。とにかく一生懸命考えて一生懸命打つ。ひたすら打つ。みんな毎日4時間くらい打っています。この調子で行けばえんから名人が出る日も近い、かも? (かん)

毎年恒例のクリスマス会。今年は何んと参加者90人! えんの中はさすがにギューギュー、熱気でムンムン。テーブルの上は、高さ30cmのクッキー製の教会をはじめ、みんなで作ったお料理やさしいれで溢れんばかり、ミニステージではこの日限り(?)のユニットが次々に登場し、ダンスや演奏でみんなを盛り上げました。この年末に、こうしてみんなで集まったことに感謝です。（ハイホー）

西野のつばき



「貧しく、豊かに暮らそう」

働きたい意志はあっても働き口が見つからない今の社会。こんな時は焦ってジタバタしてもしかたがない。入るもの(収入)が入ってこないなら、出ていくもの(支出)をおさえる道を探そうよ。

「貧困」が叫ばれる一方で、巷では毎日大量の食糧が廃棄されている。捨てられる食材を何とか利用できないか。「えん」ではこの2年間、たとえば地域の生産者から大量に野菜をいただいた際に、それをどんな料理に使い、どのような加工や保存が可能であるかに取り組んできた。その時の三好さんをはじめ、男性スタッフたちがなんと生き生きとしていることか。いただいた自然の恵みを無駄にせず、今ある食材を使って、おいしいものをつくる。これは子どもたちも巻き込んで究極の遊びでもある。高級食材ではなく、大根の葉っぱを炒めたもので何杯もおかわりする子どもの笑顔が見られるって、なんて豊かなことだろう。

新年の夢。「たまりば・エコヴィレッジ」のようなものがつくれるか。私たちが生活に必要なものをそれが不要でなくなった人から譲り受け、日々の生活に活かす。生活家具のリフォームや廃材を使って、暮らしに必要な棚や机やイスをつくる。着れなくなった洋服を使って、新たなものにつくりかえる。不要になった自転車を修理して使う。もちろん畑では農作物をつくる。「捨てる」「買う」の消費文化は人間まで消費される社会をつくってきた。ごみを出さない、工夫して使う文化へ。

これは一人ではできない。退職された方たちのその豊富な知恵や知識・技術もぜひお借りしたい。みんなでエコな暮らしのモデルづくりに取り組みれば楽しくなる予感。太陽光発電はもとより、体力がありあまる子どもたちのための、自転車型人力発電機の開発・設置。災害時にも活躍できるかも。

ただし、これはあまりキマジメに取り組まないことも大事。生きていくうえで必要なことを学んで、そもそもが面白い。お金はなくても笑顔がある暮らしの提案。足元の生活を変えれば、もっと生きやすくなるのではないだろうか。（西野博之）



オーガニックカフェ

たまりば
はるり

TEL/FAX 044-813-5248

南武線久地駅下車徒歩2分
川崎市多摩区宿河原6-26-24 フジビル1F

インフォメーション

詳しくは事務局まで

米沢スキー合宿

1月5日(木)～8日(日)

スキー、スノーボード、そり、雪遊びなど、雪山を楽しもう。そして、馴染みのペンションでゆっくり過ごそう。

夢パーク遊ぼうパンを作って食べよう

1月6日(金)

“「福島の子どもたちとともに」川崎市民の会”の主催で、サマースクールに引き続き、冬休みも福島の子どもたちとその家族が川崎にやってきます。そのプログラムの一つとして夢パークでは遊ぼうパンを作って食べます。

夢パーク初夢！新春イベント

1月15日(日)11:00～15:00(夢パークは18:00閉所)

1月16日(月):「えん」は新春イベントの代休です。

もちつき、ベーゴマやはねつき、竹細工などの昔遊び、書初め、どんど焼きなどのお正月行事をみんなで一緒に楽しみませんか？みんなでついた、おもちゃ食べられます。

春だ！春だ！パーティー

3月23日(金) 東高根森林公園(予定)

今年度をしめくくる、最後のイベント。お弁当を持って、近くの大きな公園に出かけよう。一品持ちより大歓迎。

イベント出店・出演

すくらむ21まつり

2月19日(日)川崎市男女共同参画センターすくらむ21

・焼きそば、豚汁、手づくり小物の販売予定です。

祝 20周年！！ たまりばフェスティバル

～あなたに魔法をかけちゃいます～

「えん」で行なっている講座や自主企画など一年間を通して行なってきた活動を発表する場です。楽器演奏、創作劇、歌、ダンスなど盛りだくさん 子どもたちが立ち上げた、“プロジェクトX(フェスティバル実行委員会)”が中心となって企画・運営しています。そんな彼らの姿も見に来てください。

日時：3月17日(土)14:00～17:30(開場：13:30)

会場：川崎市男女共同参画センターすくらむ21

チケット：大人 1,500円、子ども 300円

協力券 1,000円(当日+500円で入場可)

チケットのお求めは「フリースペースえん」又は電話でお問合せください。当日券もあります。

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第6回 1月21日(土)10:00～12:00

第7回 2月18日(土)10:00～12:00

(原則として、各回とも同じ内容です)

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方

会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」

資料代 500円 <要予約・先着20人まで>

ご支援いただきありがとうございます(2011.9.15～2011.12.10)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。)

勝瀬伊津子、渥美和紀、石橋充行・大吉、石山桂子、田老伸匡、木島美代子・龍次、菊地圭太・真由美、児島順子・満仲人、塩倉直子、門田啓子、竹内太郎、田辺待子、長敬弘、木村陶子、門田栄、山田恵理子、中村公一、中川裕子、毛井海渡・大智、飯沼光津子、柳生幸子、細谷加代子、山下晴子、金子大也・麻子、田坂晴男・由紀子、島村明慧・智子、阿部美佳、春田陽子、小黒敦希、森祐規、角之上治美、浦野麻子、根本朗生、草野知美、倉方洋行、徳永恭子、佐藤三智子、杉浦幸子、杉島洋子、小川さゆり、大沼尚美、武井哲郎、土屋美恵子、サポートステーションさいとう、岡田康、後藤史子、福本雅代、長谷川信儀、茂々、土屋恵美子、金子美保、中西拓子、カトリック鷺沼教会、萬谷茂之、青木悦、住政二郎、神奈川人権センター、波瀬浩子、長谷川靖子、国際ソロプチミスト川崎-百合、稲田光世、黒田ひとみ、斎藤洋、松崎運之助、岡本恵子、相川裕、立川長坦、西野博之、愛甲香織、佐藤有樹、友兼大輔、光富真希子、榎戸貴子、辰己真知子、三好洋子、能條申子、鈴木綾子

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

月払い会員、年払い会員、個人会員、団体会員など各コースあります

振込先 郵便振替口座 002002-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

* 郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は(支店名を「セ」で検索してください)

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562(光富、山下)